

## マレーシア／省エネ推進モデル構築を目的としたプロジェクトを本格的に開始しました

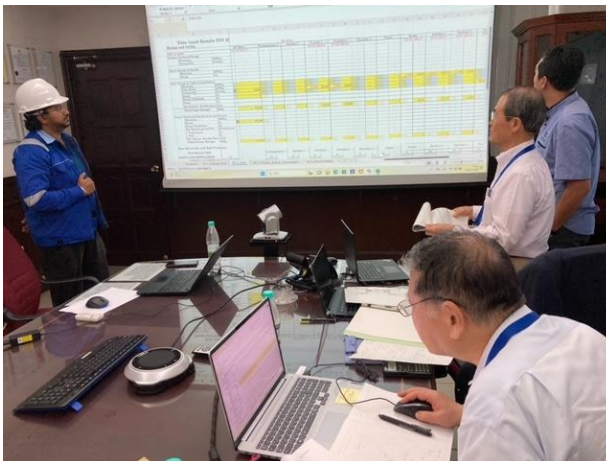
【事業概要】一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)では、資源エネルギー庁の委託を受け省エネ人材育成事業として、マレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。その事業の1つとして、今年7月から、省エネ推進モデルの構築を目的としたプロジェクトを開始しています。12月4～14日までの間、第一回現地業務として、協力企業3社に対しISO50001に基づくエネルギー管理システム(EnMS)の構築による省エネモデル形成に向けた実施計画の立案、及び今後の目標設定について支援を実施し無事に終了しました。



マレーシア政府との集合写真



協力企業との目標設定について討議



協力企業のEnMSの構築に関する支援



協力企業の工場を調査し改善を助言

【活動内容】マレーシアは現在省エネ法の執行に向け取り組んでおり、執行後は熱電統合管理による効率化の実効性を担保していくため、各事業者への普及支援活動が必要となります。しかしながら、マレーシアでは、省エネ法が目指す具体的な推進についての経験が不足しております。このために、マレーシア政府(天然資源・環境・気候変動省、持続可能エネルギー開発庁、エネルギー委員会)とMETI-ECCJは協働し、ISO50001に基づくEnMSの構築による省エネ推進モデルを協力企業3社で形成し、そのモデルを国内に普及することで、省エネ法を円滑に執行することを目的とするこのプロジェクトを今年7月に開始しました。今回の第一回現地業務で、主に2つの活動を実施しました。1つは、マレーシア政府と協力企業3社とのセミナーです。このセミナーでは、このプロジェクトの目的と目標を共有するとともに、EnMS構築に必要な知識等を説明しました。もう1つは、協力企業での活動です。この活動では、各社からセミナーでの説明内容やECCJが現地調査を踏まえ助言した事項について、活発に議論が行われました。そして、EnMSの構築及びエネルギー効率指標のベースラインと目標設定、EnMS構築を通じた省エネモデル形成に向けた実施計画を各社が自力で策定できるようそのベースを作ることができました。現在既に実施している活動に加えて今回の現地活動を実施したことで、各工場の本格的な活動開始に至りました。以上